



118号

2019年11月・12月



ふる 古きを訪ねて たず ねて あたら しく し 知る **There is nothing new under the sun**

## 夢の国日本



2019年8月11日、第23回目の印日学生会議のメンバーとして8人の私たちが東京に向けて出発した。シンガポールで長い乗り継ぎ時間の後13日に東京を到着し「東京にいる」ことだけで皆を大喜ばせた。日本側の参加者が私達を大歓迎で迎えに来てくれ、東京の滞在を心から楽しめるようにしてくれた。

今年の分科会のトピックは「教育」で、メンバーは教育システムについて、また若者の心を正しい方法についてお互いの意見を議論した。魅力的な活動がいっぱい計画されていた。例えばお台場で江戸時代をテーマにした銭湯、新宿、原宿、渋谷スクランブル、浅草に行くなど、多くのアトラクションあり、浴衣を着たり、歌舞伎を見たり、などなど。インド人のメンバーたちは今までビデオや映画で見ていたことを実際に経験できたことで、とても興奮していた。私たちは東京大学を訪問し、キャンパスの中を見ることができたのは幸運でした。インドの東京大学事務所の元所長である吉野博氏が案内して下さった。日本で高等教育を受けようとする参加者にとって、素晴らしい経験と学習の機会だった。

また、東京のインド大使館を訪問し、サンジェイ・クマール・ヴァーマ副高等弁務官と

の対話ができ、インドと日本の友好関係の美しい絆をより深く知ることができた。8月22日、喜びと興奮に満ちた10日間を過ごし、羽田空港からインドに帰る飛行機に乗り込んだ。

その10日間は私たちが一生忘れない学んだことや経験に残るはずだ。IJSCの参加者として今まで訪日する夢であったことを実現していただき、NKKSに有り難い。どうも有り難う御座いました。

ディプロ バネルジー

## 第22回目日本語クイズ

2019年、9月14日、日本語会話協会と在コルカタ日本総領事館がラマクリシュナミッションの協力で第22回目の日本語クイズコンテストをゴールパークのRMICのシバナダホールで開催した。在コルカタ日本総領事館の主席領事の中村 健様と副領事の田村 理沙様のご臨席で行われた。

全部で国際言語文化研究所(IILC), RMIC, 日本語アカデミー、ラビンドラ岡倉パワ、日印語学教育協会(IJLSS)、アツリャ ゴーシュの日本語学校から70人が参加した。ジュニアのグループに57人とシニアグループに13人だった。



Nihongo Kaiwa Kyokai Society, 2B, Shivangan, 53/1/2, Hazra Road, Kolkata- 700 019  
E-mail: write2nkks@gmail.com Visit us online: <http://www.nkks.org.in>

## 書道

(日本語クイズ...)

ジュニアグループコンテストは、語彙、文法、漢字、一般知識ラウンドで構成されていた。一番面白かったのは最初のラウンドで参加者が漢字の「音読み」を答えることで、最も興味深いラウンドだった。決勝戦では「カタカナ」のラウンドがあった。英語の言葉がスクリーンに表示され、その言葉をホワイトボードにカタカナで書くことだった。

シニアグループの最初のラウンドはジュニアグループと同じようだった。ただ漢字のラウンドは少し違った。熟語の漢字の一部がスクリーンに表示され、参加者は与えられた3つの選択漢字から残りの部分を合わせて、熟語を作るクイズだった。聴解のラウンドも一つあり、それはほとんどの学生たちが正しく答えられた。

クイズコンテストの後短いお茶の休憩時間があり、その後日本について短いドキュメンタリーフィルムが見せられ主席の皆を励ますスピーチがあった。最後には両方のグループの入賞者に中村主席が賞品を渡して下さった。

デビ ダス



2019年8月31日、例年と同じように日本語会話協会は在コルカタ日本総領事館と一緒にラマクリシュナミッションの協力の下 RKMで書道ワークショップを開催した。日本の有名な書家である長浜浩子先生が講師だった。先生はインドの様々な地域と他の国でもこのような書道ワークショップを行われている。今回のプログラムはNKKの会長のプナム ナンダ デ先生のスピーチで始まった。新しく着任された田村 理沙 副領事がチーフゲストだった。田村さんは参加者に励ましのお言葉を下さった。

様々な職業と年齢の人々はいろんな日本語学校の学生たちと共に参加した。長浜先生は2019年5月1日に始まった新元号の「令和」の意味を説明してセッションを開始された。「令和」の意味は「平和」と「調和」。元年は新時代の最初の年。

先生はずり、筆、墨等の書道の道具とその重要性について説明された。筆を垂直に持って書く方法を見せられた。心と筆を完璧に調和をすることで自分が書く字を深く感じ靈性を得ることが出来ることと強調された。

今年の書道ワークショップの最大の魅力は、漢字とベンガル語で「オウム」

と書くことだった。

参加者はインド、日本、木、平和、愛、桜、花等を書いてみた。笈賀 総領事があとで来られワークショップに参加された。総領事は今後もこのような伝統的なイベントを開催すると約束された。ルマ先生は長浜先生のお話をいつもの様に魅力的に通訳された。

NKKの副会長のアンジャナさんが感謝の言葉を述べられ長浜先生にまた書道ワークショップを開催して下さいようお願い

してこのワークショップが終了した。

パピヤ ダス グプタ

### 11月・12月のプログラム

- ◆ アカデミック セッション：  
JLPT 練習 2019年11月23日  
サラット サミティ で6時
- ◆ 日本の歌コンテスト: 2019年12月22日  
サラット サミティ で3時
- ◆ 印日文化祭: 2020年2月22日  
ジャダプール大學で 夜5時半から

練習 2019年12月から

(ニガム先生・ルマ先生へ連絡を下さい)



ピクニック 2020年1月19日

@ファルタ RKMから出発: 朝7時半



## デビ ダスさんとのインタビュー



語の 2 年間のコースを修了された。大学生の時はカルカッタ大學で経済と数学を専門に勉強された。今コルカタの'NSHM Knowledge Campus'で経理、会計審査のマネージャーとして勤められている。私は南コルカタのベハラのデビさんのお宅でお話を伺った。  
インタビューの抜粋：

Q デビさんが初めて日本語のドラマに参加されたのは 2006 年だったでしょう。よく演技されましたね。それ以来デビさんは毎年ドラマに出演されていますね。

A はい。実はその年から私は日本語を学び始めました。RKM で 2006 年から 2011 年まで 5 年間の日本語コースを終了しました。

Q でも、なぜ日本語を選ばれましたか。デビさんは以前ロシア語も習ったでしょう。

A 私はある国際銀行に約 14 年間勤めていました。2002 年その仕事を退職して他の教育機関に移り 2006 年にそこをやめました。その時自分自身を豊かにする目的で価値がある時間を過ごしたかったです。

Q デビさんはすでにロシア語を学び、そのあとで日本語を学び始めたかったですね。

A はい。こんな背景でもう一つの面白い言語を学んだ方が良くと思いました。私は日本語に伝統と現代性を同時に取り入れた興味深いスタイルを見つけました。その結果日本語の学習に引き込まれました。

Q 日本語を習う経験はいかがでしたか。

A ニガム先生の元で日本語を習いながら日本や日本人のことがたくさん分かるようになりました。また日本人の学生と交流する機会ももらいました。これらの経験で私は一度日本を訪れたいと思いました。

Q 日本の旅行についてデビさんの記事は「桜」に紹介されましたね。

A はい。2005 年、主人と一緒に訪日するこ

とにしました。初め 4 月の後半に行く予定でした。でも計画を立てる前一度ニガム先生と相談しました。先生は 4 月は桜の時期なので、4 月の最初の週を勧められました。桜は短期間だけ咲きます。3 月の最後の週から 4 月の最初の週までです。私たちは 4 月 3 日に日本に到着し、4 月 15 日まで滞在しました。その結果、桜の満開そして散るところまで見ることができました。

Q それで旅行はとても楽しかったでしょう。

A 桜とは別に様々なこと、例えば日本人が何かをよく守り、また人を助ける性質、丁寧な態度と行動、清潔さなど、多くのことを経験しました。ここでは、ある出来事をお話したいです。大阪にある「阿波座」という駅で 1 つ先の駅に行くため切符を買う必要があり、その切符は 120 円でした。でも眼鏡をかけずに間違って 180 円のボタンを押してしまいました。切符を受け取ってすぐ自分の間違いがわかり、驚いてそのことを主人にベンガル語で伝えました。隣に立っていた少年はすぐ私の手から切符とお釣りを取り、その場所の裏に走りました。3-4 分後彼は帰ってきてチケットを買う前の金額を戻してくれました。一番驚いたことは、彼は私たちの言葉が分からないのに手伝ってくれたことでそれは想像もできませんでした。

Q 趣味は？

A 映画を見たり、本や雑誌を読んだり、音楽を聴いたり、もちろん旅行もします。

Q 日本語関係のいろんなプログラムに参加されますね。

A はい、日本語のドラマ以外、クイズコンテスト、スピーチコンテスト、散文朗読コンテストにも参加しました。しかし、残念ながら私は入勝したことがありません。

Q デビさんは日本語能力試験の 4 級と 3 級にも合格されましたね。

A はい。それぞれ 2007 年と 2008 年に合格しました。

Q 思い出深い経験がありますか。

A それもたくさんあります。日本語の最初の授業の日、それは 2006 年 7 月 11 日です。私は日本語を学ぶこと、それも日本人の女性（ニガム先生）から学ぶということに非常に興奮していました。私はとても感情的になり、その思い出は今でも私の心の中に生き生きと残っています。また、日本語のドラマに初めて参加したことも忘れられない経験です。

アロークバス

日本語クロスワード  
(11月 - 12月)

1	2	3	4		
5					6
		7		8	
9	10			11	
12			13		
14					

**ACROSS**

- 1) Fringe
- 5) Pumice stone
- 7) Coal
- 9) Naked eye
- 11) Shoulder
- 12) Acid
- 13) Section staff
- 14) Geometry

**DOWN**

- 1) Deep purple
- 2) Monkey
- 3) Naval battle
- 4) Formal Japanese room (mat)
- 6) Simple/easy
- 8) Expensive
- 10) Ophthalmology
- 13) To scratch

モハシユウエータ バス ムカルジー

(9月-10月)

日本語のクロスワードの答え

1 あ	2 さ	3 ね	4 ぼ	5 う	
6 さ	い	こ	う	さ	7 い
8 い	ろ		9 せ	ぎ	ん
	10 く	11 う	き		さ
12 か		み		13 か	つ
14 き	ぬ		15 む	し	き

綴り換え-62

下記のボックスに言葉を元の状態に戻し、丸字をつないで答えを見つけましょう。



1. ふなしぎな(Seven wonders)  
○ ○ □ □ □ □
2. しやころ(Professional killer)  
○ ○ □ □
3. やかすおび(To threaten - eg. peace)  
□ ○ ○ □ □ □
4. ものおくり(Present, gift)  
○ □ □ □ □ □
5. かたきか(Way of writing)  
□ ○ □ □ □

ショントウ デブナート

綴り換えの答え-61

1. じゅうよう
2. じゅうみん
3. にんぎょう
4. といあわせ
5. いろいろ

じ ゆ う に ん と い ろ

**IJSC 23 回目**  
**包括的なレポート**

日本で開催された最近のインド日本学生会議に関する「必読」レポート。NKKのウェブサイトに掲載 - 現代日本とその文化に目を開かせる。

<http://www.nkks.org.in>

編集者：トヌスリ チャタルジー・アローク バス 翻訳者：トヌスリ チャタルジ

桜... 日本語会話協会の隔月のニュース レター